

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	竹内 政則
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	水谷 健一郎

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	24,588 (H28)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み					評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性		
					(年度)	(年度)								
施策1	課題1	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	24,588 (H28)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	51,000	51,000	B	継続
	課題2	石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (H37)	4,542 (H27)	4,269 (H28)	1	首都圏交通機関タイアップ情報発信事業費	首都圏観光客	8,800	8,800	B	統合
								2	ふるさと祭り東京出展事業費	首都圏観光客	9,500	9,500	B	統合
								1	関西・中京圏誘客促進事業費	観光客全般	10,500	10,500	B	拡大
								再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	51,000	51,000	B	継続
	1	東北地方誘客促進事業費	観光客全般	3,000	3,000	A	統合							
課題3	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (H31)	25,018 (H27)	24,588 (H28)	1	新幹線開業1周年キャンペーン事業費	観光客全般	10,000	10,000	B	見直し	

※人数については暦年の数値である

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主任主事 西崎 穂			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

＜事業の背景及び目的＞  
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、(公社)石川県観光連盟に対して資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- ＜事業の概要＞
- 1 貸付額 51,000千円
  - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】実施事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
    - (1)北陸新幹線開業1周年記念メインイベントの開催
    - (2)本県を周遊する旅行商品づくりへの支援
    - (3)石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用したPR
    - (4)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
    - (5)「いしかわ伝統工芸フェア」への出展
    - (6)石川県観光ブランドプロデューサー活動費

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	24,588	

事業費						
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算					51,000
	決算					51,000
一般財源	予算					0
	決算					0
事業費累計		0	0	0	0	51,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	観光入り込み客数は、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動を行った結果、前年比約98.3%の約24,588千人と開業前後の落ち着きが見られたものの、平成26年比約113.8%と開業前を大きく上回った。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	引き続き、「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、国内誘客に向けたプロモーション活動を展開する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	首都圏交通機関タイアップ情報発信事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	氏名	主任主事 絹川 由子		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1543 内線 1947

<事業の背景及び目的>  
 首都圏における認知度向上のため、交通事業者のネットワークを活用することにより、効率的かつ効果的な情報発信を行い、誘客促進を図る。

<事業の概要>  
 (1) 首都圏私鉄会社とのタイアップ  
 ・首都圏私鉄(京浜急行電鉄、京王電鉄、小田急電鉄、江ノ島電鉄、京成電鉄、東武鉄道)と連携した観光PRの実施  
   ① 電車内や駅構内でのポスターの掲出  
   ② 観光PRイベントの開催(グループの百貨店等)

(2) JR東日本(びゅう事業部)とのタイアップ  
 ・山手線、京浜東北線等の首都圏主要路線における車内中吊りポスター掲出

(3) 東京メトロとのタイアップ  
 ・メトロビジョン(車内ドア上モニター)における観光PR映像の放映

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	首都圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
7,000	2,338	2,426	2,419	4,542	4,269	

事業費					
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 予算	8,000	8,800	8,800	8,800	8,800
事業費 決算	8,000	8,800	8,800	8,800	8,800
一般 予算	8,000	8,800	8,800	8,800	0
財源 決算	8,000	8,800	8,800	8,800	0
事業費累計	8,000	16,800	25,600	34,400	43,200

評価	
項目	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B 首都圏からの入り込み客数については、首都圏交通事業者とタイアップした情報発信を行った結果、前年比約94.0%の約4,269千人となり、開業後の落ち着きが見られたものの、平成26年比約176.5%と開業前を大きく上回った。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	統合 引き続き、新幹線開業で高まった本県への関心を継続していただくため、首都圏の交通事業者とタイアップした情報発信の取り組みを展開する。 (首都圏交通機関タイアップ情報発信事業費、ふるさと祭り東京出展事業費、東北地方誘客促進事業費を統合)

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ふるさと祭り東京出展事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主任主事 絹川 由子			
	電話番号	076 - 225 - 1543 内線 3947			

**<事業の背景及び目的>**  
 本県の魅力ある食を活用した観光物販ブース及び伝統芸能のお祭りの出展し、「食」と「祭り」をメインとした首都圏における観光PRを実施し、本県の魅力を活かした情報発信を行い、誘客促進を図る。

**<事業の概要>**  
 平成29年1月に東京ドームで開催される「ふるさと祭り東京2017」において、県産食材を使用した食の販売や物産品の展示・販売、観光PRブース、伝統芸能のお祭りを出展し、本県の魅力を体感していただくことで本県への誘客促進を図る。

- (1) 県産食材を使用した食の販売や、物産品の展示・販売、観光PRブースを出展
- (2) お祭りステージにおける伝統芸能・祭りの披露
- (3) PRステージにおいて「ひやくまんさん」による観光PR

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	首都圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	7,000	2,338	2,426	2,419	4,542	4,269	

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
	決算	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
一般財源	予算	9,500	9,500	9,500	9,500	0
	決算	9,500	9,500	9,500	9,500	0
事業費累計		9,500	19,000	28,500	38,000	47,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	首都圏からの入り込み客数については、「ふるさと祭り東京2017」に訪れた約41万人の来場者に対して情報発信を行った結果、前年比約94.0%の約4,269千人となり、開業後の落ち着きが見られたものの、平成26年比約176.5%と開業前を大きく上回った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	統合	引き続き、新幹線開業で高まった本県への関心を維持していくため、ふるさと祭り東京への出展を通じ、首都圏への情報発信の取り組みを展開する。  (首都圏交通機関タイアップ情報発信事業費、ふるさと祭り東京出展事業費、東北地方誘客促進事業費を統合)

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 関西・中京圏誘客促進事業費	事業開始年度	H26	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課
成	職	氏名	主事 上坂 ちえ
者	電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3950	

<事業の背景及び目的>  
 北陸新幹線敦賀延伸を見据え、本県への入り込みで大きな割合を占めている関西・中京圏からの誘客を更に強化する必要がある。  
 このため、新幹線開業により本県への関心が高まったこの好機を捉え、関西・中京圏において鉄道事業者等と連携し、入り込みの閑散期である冬期に、ジャパニーズビューティー北陸キャンペーンと連動した鉄道利用客をターゲットとしたプロモーションを実施する。

<事業の概要>  
 (1) 大手私鉄グループとのタイアップ  
 大手私鉄グループとタイアップし、成約特典付き旅行商品の販売促進キャンペーンを実施  
 ・私鉄電車車内吊り広告  
 ・私鉄駅構内ポスター掲出  
 ・大手私鉄グループ百貨店で開催する物産展での観光PR  
 ・グループ会報誌への広告掲載

(2) JR西日本グループとタイアップした誘客促進  
 ・日本旅行店頭での旅行商品販売促進キャンペーン  
 ・成約特典付旅行商品の販売

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	13,000	6,832	7,017	6,903	9,259	9,011	
事業費							
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算			3,000	8,000	10,500	
	決算			3,000	7,646	10,500	
一般財源	予算			3,000	0	0	
	決算			3,000	0	0	
事業費累計		0	0	3,000	10,646	21,146	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	鉄道事業者と連携した誘客プロモーションを実施した結果、関西・中京圏からの入り込み客数については、それぞれほぼ前年並みの約2,736千人、約2,006千人となり、平成26年比ではそれぞれ約108.5%、約102.2%と開業前を上回った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	北陸新幹線敦賀延伸も見据え、JRと北陸三県等が連携した新たな通年の誘客キャンペーンに合わせ、四季を通じた誘客を実施することにより、関西・中京圏からの更なる誘客を図る。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東北地方誘客促進事業費	事業開始年度: H27	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課 職・氏名: 主事 宮田 真奈美 者 電話番号: 076 - 225 - 1543 内線 3948
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016	

<事業の背景及び目的>  
 新幹線開業以降、利便性が向上した東北地方からの入り込みが増加しており、新たな需要が発生している。このため、東北地方を新たな重点誘客エリアに位置づけ、東北地方からの具体的誘客促進事業を展開する。

- <事業の概要>
- (1) 東北地方の地元百貨店とのタイアップによる誘客促進
- ① 地元百貨店とのタイアップによる誘客促進
    - ・東北地方の百貨店で開催する物産展において観光PRを実施
  - ② 百貨店の会員をターゲットとした誘客促進
    - ・百貨店内の旅行会社店舗とのタイアップによる旅行パンフレットでの石川特集や商品造成、店頭での販売促進PR活動
    - ・旅行商品を百貨店の会員にDMで紹介
- (2) JR東日本とのタイアップによる誘客促進
- ① JR電車内中吊り広告など
  - ② JR東日本びゅう店舗での旅行商品購入者へのプレゼントキャンペーン、店頭での販売促進PR活動

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	観光入り込み客数	単位	千人			
目標値	現状値					
平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	24,588	
事業費						
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費 予算				10,000	3,000	
事業費 決算				10,000	3,000	
一般 予算				0	1,500	
財源 決算				0	1,500	
事業費累計	0	0	0	10,000	13,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	鉄道事業者等と連携した誘客プロモーションを実施した結果、東北からの入り込み客数については、前年比約110.8%の約216千人となり、H26年比約170.1%と開業前を大きく上回った。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間等のあり方を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	統合	北陸新幹線金沢開業により増加する東北からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JRと北陸三県等が連携した新たな通年の誘客キャンペーンに合わせ、四季を通じた誘客の促進を図る。  (首都圏交通機関タイアップ情報発信事業費、ふるさと祭り東京出展事業費、東北地方誘客促進事業費を統合)				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 新幹線開業1周年キャンペーン事業費	事業開始年度: H28	事業終了予定年度:	組織: 誘客戦略課 職・氏名: 主任主事 濱口 紀一郎 電話番号: 076 - 225 - 1537 内線 3944
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016	

<事業の背景及び目的>  
 新幹線開業効果を持続・発展させるため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを展開し、誘客に繋げる。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール
- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 平成28年 3月12日～ 9月30日    | 北陸新幹線開業1周年キャンペーン      |
| 平成28年10月1日～11月30日     | 北陸デスティネーションアフターキャンペーン |
| 平成28年12月1日～平成29年3月31日 | ジャパニーズビューティー北陸キャンペーン  |
- (2) 事業内容
- ① 観光素材の強化
    - ・新たな観光素材の整備
    - ・開業1周年記念キャンペーンでのプレゼントキャンペーン
  - ② 情報発信の強化
    - ・専用ホームページ、季節毎のポスター、ガイドブックによるPR
    - ・旅行会社店頭説明用の観光素材資料集の作成                      など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	24,588
事業費						
	(単位: 千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算					10,000
	決算					10,000
一般	予算					10,000
財源	決算					10,000
事業費累計		0	0	0	0	10,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	観光入り込み客数は、JRと北陸三県等が連携した年間を通じた誘客キャンペーンを展開した結果、前年比約98.3%の約24,588千人と開業後の落ち着いた見られたものの、平成26年比約113.8%と開業前を大きく上回った。				
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	見直し	北陸新幹線金沢開業3年目を以降も開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じた新たな誘客キャンペーンを継続的に実施する。				